



心でつなぐ 地域でつつむ 医療 介護 福祉



京都市奈掛地域包括支援センター (愛称) 高齢サポート・奈掛

TEL 335-2201 カンター長 肉山裕之

こんなにちは、京都市沓掛地域包括支援センターの内山裕之と申します。

この度は、京都市沓掛地域包括支援センターの紹介をかねまして、ご挨拶を申し上げます。私共は、自宅で暮らされている65歳以上の方々の福祉や健康づくりについて、病気ケガのあとの療養や介護についてなど、ご相談をお受けしている福

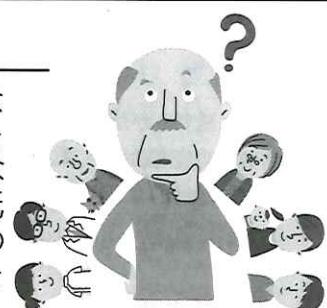
これから、予期せぬことで生活に困ることはどなたでも起ることかも知れません。私共は、これからも職員一丸となって、福祉相談の役割を果たせるよう取り組んでまいりたいと思います。ぜひ、京都市沓掛地域包括支援センターを身近に感

それでも、生活の中でちょっとした困ることや、これららの暮らしを考えると悩むこと、心配なことはどんなをでもお持ちかもしません。

私は、お困りごとやお悩み、ご心配ごとなどはまずはしつかりとお聞かせいたしましたうえで、それではどうしたらよいのかといふ解決に向けての対話を重ねていく中で、ご相談に応じます。

いまでの体の調子を保つためには、どうしたらよいのか、どのようなことに取り組めば、いまより悪くならずにいられるのか。皆様ができる限り長く健康でありつづけられるよう私共は応援したいという思いをもって、
相談対応に努めております。

認知症とは



認知症の人の気持ち

自分がこれまでとは違うことに、まず気付くのは本人です。もの忘れや失敗が増え、「この先自分はどうなっていくのだろう」、「家族に迷惑をかけているのではないか」というような不安を感じるようになります。

「老化によるもの忘れ」とは異なります。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が損傷を受けたり、働きが悪くなることで、認知機能が低下し、さまざまな生活のしづらさが現れる状態を指します。

老化によるもの忘れ	認 知 症
・体験の一部を忘れる	・体験全体を忘れる
・ヒントがあれば思い出せる	・ヒントがあっても思い出せない
・人や場所、時間はほぼ 正しく認識できる	・人や場所、時間を正しく 認識しにくくなる



認知症の人の気持ち

自分がこれまでとは違うことに、まず気付くのは本人です。もの忘れや失敗が増え、「この先自分はどうなっていくのだろう」、「家族に迷惑をかけているのではないか」というような不安を感じるようになります。



何か失敗した時に、どうしていいか
わからずには混乱し、いろいろしやすくな
ったり、不機嫌になったりすることがあ
ります。時には声をあげてしまったり、
つい手を出してしまうことがあります。

りがとうございました。
庶務係一同

一年間社協広報係を経験し、たくさんの季節の行事やイベントをお手伝いさせていただきました。

地域の高齢者の方々、子どもたちと沢山ふれあうことは、社協委員にならなければ、なかなか出来ない貴重な経験だったと思いました。

皆で協力し、無事に広報紙を発行することが出来ました。一年間ありがとうございました。

広報係一同

じでいたとき、気軽にご利用していただけましたら幸いに存じます。

「お手伝い」と言ひながらも、いろいろなことを参加者の方々とともに経験させて頂き、その中で多くのボランティアさんのお力添えがあつてこの事業が成り立つていてることを知るなど多くの事を学ばさせて頂くところ。三回ある

